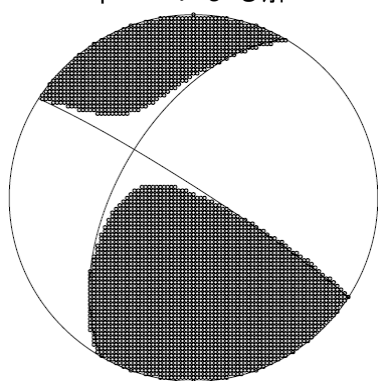


4月14日 中国、青海省の地震 (W-phase を用いたメカニズム解析)

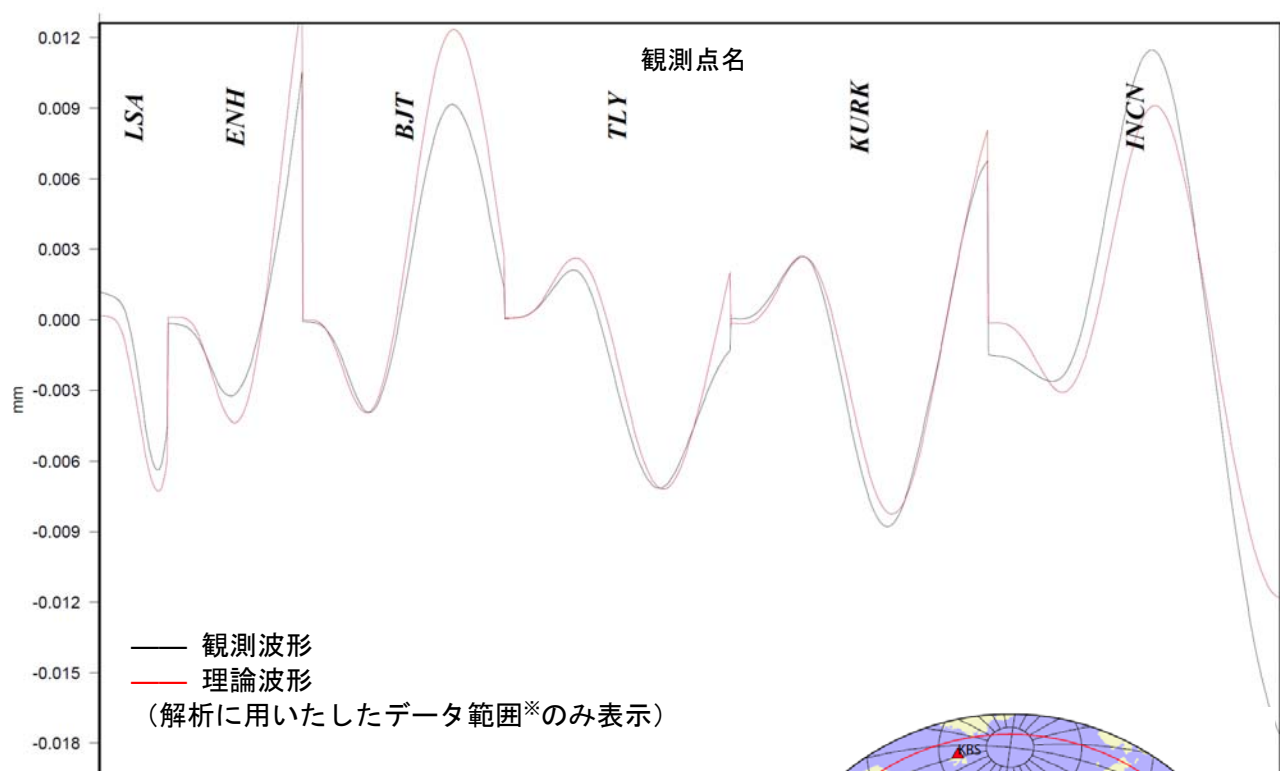
W-phase による解



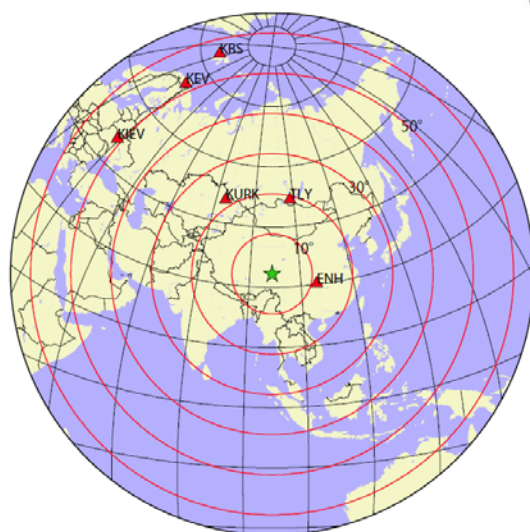
Mw6.9 (6.92)

2010年4月14日8時49分（日本時間）に中国、青海省で発生した地震について W-phase を用いたメカニズム解析を行った。メカニズム、Mwとも、Global CMTなどの他機関の解析結果とほぼ同様であり、Mwは6.9であった。最適位置はN33.17, E96.53となった。

W-phase の解析では、震央距離 $10^{\circ} \sim 60^{\circ}$ までの計6観測点の上下動成分を用い、200~1000 秒のフィルターを使用した。



※解析に用いたデータの範囲は15秒×震央距離（度）としており、各々の観測点の解析区間のみを繋げた波形を表示している。



解析に使用した観測点配置

(W-phase に関する参考文献)
Kanamori, H and L. Rivera (2008): Geophys. J. Int., **175**, 222-238.

IRIS-DMC より取得した広帯域地震波形記録を使用した。また、解析に使用したプログラムは金森博士に頂いたものを使用しました。記して感謝します。